

高校生が考える「働く姿」

～before 30年、after 30年～

最近ニュースでよく耳にする、『働き方改革』。まだ働いたことない高校生にとっては、関係ない話？ いいえ、近い将来働くことになる私たちにとっても、大切な話！
働くことについて考えよう！ また、京都市ユースサービス協会は30周年！ 今回はそれを記念して、30年前と現在を比較し、また30年後の未来についても考えてみました。

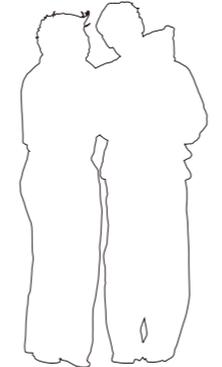
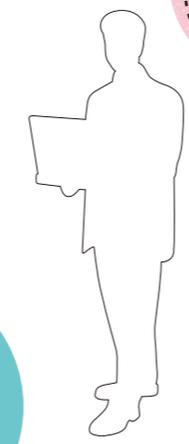
企画・編集



あかりさん(17) みほさん(17)



江上くん(17) 戸田くん(17)



以上のインタビューを踏まえて、2人で未来について話しました



未来は明るいかな？

- Q** 将来の夢は？
- ① 将来的に大人になりたい。
 - ② 将来は明るい？暗い？&選んだ理由。

- A** ① 明確じゃないけど、福利厚生のある会社に勤めたい。ゆめゆめは家の仕事を手伝えたいな。
- ② 自分に厳しく、他人に優しく。人にあまり怒らず、心を広く持ちたい。
- ③ 暗い。雇用がAへの進出で人が不要になっていき、給料も減っていく。ブラック企業が多いから……。

- Q** 人の役に立つことがしたい。
- ① 健康・貯金！
- ② 暗い。ブラック企業のニュースをよく見ると、まだ日本は海外よりも働くのに優遇されていないと思うので。

- K** ① 将来の夢は決まっています。
- ② 今は不況で、その上パソコンーターの発展で仕事も減ってきているので、安定した職業を選ぶのにも、まだ時間がかかりそうです。やたらやたら分だけお金が入るわけでもないの、なかなか厳しいですね。
- ③ 30年後は安定した給料を得て、平和に暮らしていきたいと思います。色んな外国にも行ってみたいです。

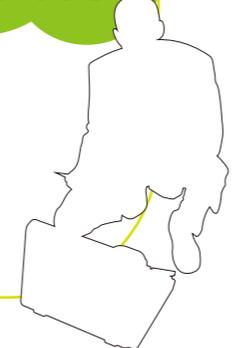
after 30年

- あかり**：私はインタビューでもほとんどの方が答えてはるうちに、暗いと思う。でも、明るくなくて欲しいという願望が強いかな。最近では、働き方改革が行われているし、これから私達が就職していくなかで、働きやすさをより求めやすくなっていくんじゃないかな。
- みほ**：私は明るくなると思う。今、パソコン企業とか長時間労働が問題になっていて、それでも暗い、怖いイメージがついているけど、それらの問題に向けて政府も対策を始めてるし、今、怖いと強まっている私たちが30年後には会社の上の方になっているはずだから、改善されて働きやすくなるんじゃないかな？
- あかり**：やっぱり、働きやすくなっているって話で、こういうのはみんなが思っているよね。最近では過労死が問題視されている場面もみられる。仕事をしすぎて死ぬのは嫌。趣味の時間も持てる会社が良いな。

before 30年

1980年代に、先進国の中における日本の労働時間の長さが問題として指摘されるようになり、「ワーカホリック(仕事中毒)」という用語が注目されるようになりました。それにもない、1988年に労働基準法が改正され、民間企業では1週間の最大労働時間として40時間と定められ、週休2日制が導入されていきました。しかし、その実現には多くの時間がかかり、さらに、週末の労働時間が削減された分、平日の労働時間がのび、睡眠時間が削られるなどの問題点もありました。また、当時はコンビニやファーストフード店の増加にもない、非正規雇用労働者が登場しました。これらのことから、働きやすくなっていくためにさまざまな働きかけや労働形態の変化があることがわかりました。

当時の高校生に将来に対してどのように思っていたか、インタビューしてみました



- A** 働くことに対するイメージは強く持っていなかった。みんながしているから、せざるを得ないものなんだなという認識だった。バブル期だったことから、お金に困ることは少なく、安定よりも『なりたいた夢』を仕事にしたかった。
- B** 働くことに対するイメージはそこまで持っていなかった。自分の周りが進学が当たり前である雰囲気だったので、自分も同じように進んだ。また、アルバイトは学生がするもの、というイメージが強かった。

このインタビューでは、当時は、現在の仕事に安定を求める風潮よりも、夢実現を目指す人が多かったことや、現在では多くみられるフリーターが珍しかったということがわかりました。



私たちが出来るインタビュー

- みほ**：高校生向けの企業説明会とかあったらいいな。今、私たちはアルバイトが禁止されているから、実際に働くのがどんな感じなのか分からないし、ボランティアも自分の希望している将来の活動があるわけじゃないから。
- あかり**：確かに！ それはいいかも！ 高校生のうちから、働くってどういうことかな？

まとめ

って考えられる環境があるのは、将来絶対役に立つよね。いろいろなジャンルの企業を見ることで、自分の将来像をより考える機会にもなりそう！